

投資商品の情報開示と利益配分について

葛西優菜
学習院大学経済学部学科
学籍番号 22021276

要約

1 はじめに

近年よく経済の話題として定番となっていることに「将来の資産価値の目減り」がある。現在 100 万円口座に預け入れたとしても、数十年後にその 100 万円が同じ価値であり続けるとは限らないといった話である。その要因としては多くの要素が複合的に絡んでくるため一概には言えないが、日本経済のインフレ状況にあるとされている。

そういった話の流れで現時点の資産をその価値のまま守る・将来資産を少しでも増やす目的で「投資」が注目されている。原資産を元手に将来の資産を増やす「投資」は非常に有効な手段であり、正しく計画を立てて行えば将来のリスクをヘッジすることができる。しかし、その一方で投資のイメージとして「いかがわしい」「怪しい」といったことを感じたことはないだろうか。私は現在経済学部にも所属しているものの、未だ投資のシステム・種類に関しての知識が浅いこと、また現実世界で目にする投資詐欺に関するニュースや上手い投資話に対してどこかグレーなイメージを持っていることなどから、「投資」を 100%信用しきれていないのである。

今回、卒業論文を執筆するにあたって私はこのどこから来る「投資への不信感」が何であるのかについて研究しようと考えている。加えて、実際のところ「投資は怪しいものなのか」を考えていく。

2 問題設定

2.1 問題設定

「投資への不信感」を探るにあたって、現時点で自分がこれに繋がる要素として考えていることをもとに問題を設定する。

まず、投資を構成する主体として大きく分けると投資家・投資先・仲介機関(投資信託会社・金融機関等)の三者に分けられる。

私はこの中で、①投資家に関わる疑問と②仲介機関に関わる疑問が生まれた。

- ①投資家に関わる問題(投資関連情報について、その情報の不明確性・信用性)
- ②仲介機関に関わる問題(情報の非対称性によるエイジェンシー問題・自社利益の追求と顧客還元とのバランス)

以上について本論文では検証したい。

そもそも、投資には様々な種類がある。近年はプロ・アマチュア問わず投資に手を出しやすい仕組みが整っており、「新NISA」といった話題も相まって投資への関心が高まってきている。そのことで更に新しい商品が生まれる。こういう流れで投資関連商品は時代と共に多く、より細分化しているのである。

以下の表1は大まかに投資の種類と特徴を示している。どれも経済学部ならば一度は目にしたことのある商品であるが、それぞれの運用手法やリスク・リターンのバランスは商品によってかなり違ってくる。

今回、検証するにあたって投資の中でも投資信託に着目している。理由としては、仮説検証に当てはまりがいいということと、投資における仲介機関の働きが最もよく表れているためにシステムが分かりやすいと考えたためである。

表1 金融商品の種類と特徴

金融商品の種類	特徴
1. 定期預金	一定期間、元本と利息が保証される
2. 外貨預金	外国通貨で預け入れる預金で、為替差益も狙えるが為替リスクもある
3. 債券投資	国や企業にお金を貸し、利息収入と元本返済を受け取る
4. 株式投資	企業の株を購入して配当や株価上昇による利益を狙う
5. 投資信託	複数の投資家の資金をまとめ、専門家が運用する
6. 不動産投資	賃貸収入や資産価値の上昇を目的に物件を購入する
7. 長期積立投資	毎月一定額を積み立てながら長期的に資産を育てる
8. 仮想通貨・ポイント投資	デジタル資産やポイントを活用

(出所)筆者作成

2.2 仮説の設定

設定した問題を検証するために以下のような仮説を設定した。

「明確な投資関連情報を提供している投資仲介機関は、両者(会社・利用者)にとってのフェアな利益分配をしている。」

3 仮説の検証

3.1 仮説の検証方法

以下の事実①と事実②の情報を整理したうえで検証仮説を確認する。

事実① 投資仲介機関の提供する投資関連情報の明確性と人気(業界シェア)は比例する。

事実② 投資の仲介機関は自社の利益追求をすることで結果的に両者(会社・利用者)にとってのフェアな利益分配となる。

検証仮説 ①で提供される投資関連情報が明確な企業ほど、②のフェアな利益分配となる。

以上の事実を次の方法で収集する。事実①に関しては、各投資仲介機関のホームページでの情報アクセスの構造から評価する。事実②に関しては、各投資仲介機関が提供する代表的な投資信託商品の交付目論見書で公開されている情報をもとに分析する。

3.2 事実①：投資信託の情報開示について

「投資仲介機関がどういった情報開示をしているのか」について、各社(松井証券・SBI証券・楽天証券・マネックス証券・ひふみ投信)のホームページで提供されている情報から、情報開示方法・表示方法の明確性・信用性について整理する。このとき、以下の点に注目して検討する。

(1) アクセス難易度

手数料体系の情報のページに至るまでに何回のページ切り替えがあるのか、投資信託を利用する上でのリスクに関する記載のページに至るまでに何回のページ切り替えがあるのか(=重要な情報にどれほど辿り着きやすいか)

(2) 明確性

各社の文言に顧客へ誤解を招くような表現はないか、あるいは表示形式による分かりにくさはないか

(3) 救済措置

投資信託未経験の顧客に対する教育的手段はあるのかの3点に注目し、それぞれについてデータを取っていく。

アクセス難易度に関しては、ページ切り替えの回数を「手順」として数え、目的のページに至るまでに「1回の切り替え」を要する際には「1手順」としてカウントする。明確性に関しては、筆者自身が各会社のサイトにおいて惑わされることがあったかどうかをもとに、検証していく。救済措置に関しては、各会社のサイトに投資信託未経験の顧客向けの情報が掲載されているかを検証していく。

3.3 事実②：投資仲介機関側の利益と顧客側の利益の分配について

投資仲介機関各社(松井証券・SBI証券・楽天証券・マネックス証券・ひふみ投信)の手数料体系を確認し、更に、各社の代表的な投資信託商品の交付目論見書の情報をもとに仲介機関側の利益と顧客還元の割合の実情を確認する。

手数料体系に関しては各社投資仲介機関のホームページに掲載されている情報をもとに確認していく。

投資仲介機関側の利益と顧客還元の割合についての計算は以下の通り行う。

ある年の基準価額=a円

その翌年の基準価額=b円

純粋利益率=b/a-1

投資仲介機関側の利益率=信託報酬(年利x%)=x/100

顧客側の利益率=b/a-1

投資仲介機関側の利益率：顧客側の利益率=x/100：b/a-1

※基準価額は信託報酬分を差し引いて毎日変動しているため、基準価額の利益率がそのまま顧客の利益率となる。

※実際のところ、信託報酬には投資信託の運用にかかるコストが含まれており、さらに信託報酬は運用会社・販売会社・信託銀行などに分配されるため信託報酬全体がまるごと仲介機関の利益とはなっていないが、今回は概算値としてコストを考えずに、また運用会社・販売会社・信託銀行の分配を考えずに計算する。また、顧客還元の部分についても実際は税金が発生するため税金分は差し引かれるが、簡略化のために考えないものとする。

4 分析結果

4.1 事実①：投資信託の情報開示について

表2は投資信託の情報開示に関して情報をまとめたものである。

表2 投資信託仲介機関の情報開示状況

仲介機関名	アクセス難易度	明確性 (ミスリード有無)	救済措置
松井証券	3手順/3手順	なし	多くあるが、 難易度高め
SBI証券	1手順/2手順	あり	ある
楽天証券	1手順/2手順	あり	多くある
マネックス証券	1手順/3手順	あり	ほとんどない
ひふみ投信	2手順/2手順	なし	多くある

(出所) 筆者作成

(注) アクセス難易度に関しては、(○手順/○手順)で表しており、前者が手数料体系の情報に至るまでのページ切り替え回数、後者がリスク説明のページに至るまでの切り替え回数となっている。

4.1.1 証券会社ごとのごとの情報開示状況①松井証券

(1) アクセス難易度

トップページ→タブ(手数料)ページ(投資信託項目)→手数料詳細ページ
→投資信託のコストに関する説明ページ

の流れで手数料体系に到達した。合計3手順かかった。

リスクに関する案内は

トップページ→タブ(手数料)ページ(投資信託項目)→手数料詳細ページ
→リスクおよび手数料について

という流れで表示される形になっていたため、リスク説明までは3手順かかった。

(2) 明確性

明らかなミスリードと捉えられるような表示は無かった。手数料の表記は0円という部分がテキストの色で強調されていたが、その直前に「購入時手数料」と書かれているので読み手も「購入時手数料については0円である」と正確に認識できるようになっていた。また、購入時手数料以外に発生する費用についても投資信託初心者向けに図を用いて説明しているページもあり、手数料体系の表示としてもミスリードになりえるような箇所は見当たらなかった。

(3) 救済措置

手数料に関して、購入時手数料以外の手数料(信託報酬・信託財産留保額)に関する説明が図解されているページがあった。

投資信託に関する相談ができる専門ダイヤルがあった。これは会員登録をしたのちに利用できるサービスである。

会員登録なしでも閲覧できる投資信託に関する情報動画が揃ったサイト「マネーサテライト」があった。しかし、この動画の中にはお勧めファンドや投資に関する前提知識を踏まえている段階の人々向けの動画が多くみられ、初心者向けには感じられなかった。

総じて、投資についての情報を得られるツールとしては多くあるものの、投資信託初心者が手続きなしで気軽に取得できる情報としては少ないように見えた。

②SBI証券

(1)アクセス難易度

トップページ(サービスタブ→手数料)→手数料ページ(投資信託)

といった流れで、1手順で手数料体系にアクセスできるようになっていた。

手数料ページに関して、トップページに手数料という文字は見当たらず、探すのに時間がかかった。トップページから直接ページ移動でき、1手順となつてはいるものの、実際にはトップページからタブよりも上部に位置する「サービス」という項目から手数料ページに移動できるようになっていたため、初見で見つけることは中々難しいのではと感じた。

トップページ→タブページ(投資信託→ご注意事項)→投資信託 お取引ご注意事項ページ

という流れでリスク説明に関するページ(ご注意事項から先のページ)までは2手順要した。

(2)明確性

読み手のミスリードにあたる部分としては、手数料の部分である。

各社それぞれが採用する手数料体系が異なるということは初心者も前提として知ってはいるものの、商品ごとに手数料が異なるという事項はより分かりやすい場所に設定すべきである。実際私が調べた際には約10分程度サイト内を移動し探す必要があった。基本的に見やすい場所としてはトップページのタブから移動後の投資信託ページであるが、現在の同ページにはお勧めの投資信託商品のランキングが載っており、読み手の興味を引き付けはするものの、現実的な情報(手数料に関する説明やリスクに関する説明等)には乏しかった。また、コースや商品によって手数料の体系が異なるようだが、コースごとの違いの比較表などは特段見当たらなかったため、手数料体系に関して正確に理解するのは難しいように感じた。

SBI証券の特徴として、商品情報の詳細や手続きに関する詳細を見る際に会員登録・ログインが必要になるという点がある。商品やコースごとの手数料の詳細はそれらを行った先で見られるようになっているという可能性もある。

(3)救済措置

「投資を学ぼう」というコーナーで、初心者向けの基礎的な知識を学べるようになっていた。

また、オンラインでのセミナーやアーカイブ動画など、中上級者向けの情報が公開されていた。公式YouTubeにて情報発信を行っていた。

③楽天証券

(1)アクセス難易度

トップページ→手数料タブページ(投資信託)

トップページから1手順で手数料ページに到達した。しかし、手数料ページには買付手数料が0円との記載はあるものの、その他の費用に関する記載は見受けられなかった。投資信託の専用ページから取引ガイドの項目を選択しページを移動するとその他の費用に関する説明が見られるようになっていた。

トップページ→商品(投資信託)ページ→取引ガイド(ページ下部)

リスク説明に関しては、投資信託専用ページから取引ガイドのページまで2手順で到達した。

(2) 明確性

手数料ページに関して全体的に「0円」といった文言が強調されている一方でその他の費用に関する記載や注意書き等がない点に読み手の誤解を生む可能性がある。加えて、他社と比べるとリスク説明・費用体系がページの下部に位置しているため、欲しい情報が分かりづらい場所に位置している感覚があった。

(3) 救済措置

マーケット情報の専用ページがあり、金融情勢を把握しながらの投資がしやすくなっていた。様々な媒体(本・動画・セミナー)で初心者向け投資情報を発信している。「トウシル」という楽天証券独自の情報サービスが存在し、初心者向けから上級者向けまで幅広い情報発信を手掛けている。

④ マネックス証券

(1) アクセス難易度

トップページ→手数料タブ(投資信託)

トップページから1手順で手数料の項目が見られるようになっていた。投資信託のその他手数料に関しては商品ごとに異なるため、手数料の項目から詳細のページに移動すると商品一覧のページに遷移する流れになっていた。

トップページ→商品タブ(投資信託)から関連情報(お役立ち情報)→初心者コーナー→手数料詳細ページ下部

リスク説明に関しては3手順で到達した。手数料体系に関する詳しい説明も同ページ(初心者コーナー)に記載されていた。

(2) 明確性

手数料の項目から詳細部分に移動するとそのまま商品一覧へと遷移する仕組みになっていたが、初心者が見たときにその意味が分からない可能性が大いにある。せめて手数料の項目か、遷移先のページ上部に手数料体系に関する説明を置くべきだと感じた。

リスク説明に関しては楽天証券と同様にページの下部に位置しており、サイト内を探さないと見つけられないのではと感じた。

(3) 救済措置

電話相談できるようになっていた。

マーケット情報を知ることができるツールはあったものの、上級者向けのツールであった。初心者に向けたツールは見受けられなかった。

⑤ ひふみ投信

(1) アクセス難易度

トップページ→商品ラインナップ→商品説明ページ

手数料体系・リスク説明の両者が同じページに記載されており、2手順で到達した。

(2) 明確性

手数料体系に関して、初めから投資信託にかかる費用の項目全てがどれくらいかかるのかが明確に記載されており、他のページから探し出さなくてもよい仕組みになっていて明確だった。また、リスク説明に関してもページの真ん中の部分に明記されているために目に入ってきやすかった。総じてミスリードにあたる部分は無いと考えた。

(3) 救済措置

専門家のインタビュー形式の記事が多くあった。セミナー専門のYouTubeチャンネルがあり、投資にまつわる初心者向けの情報発信を行っていた。

4. 2.2 法律的側面からの評価

表3 各仲介機関の法律的側面からの評価と課題点

仲介機関名	評価	課題点
松井証券	秀	なし
SBI証券	優	②閲覧にログインが必要
楽天証券	優	③費用のページが不明確
マネックス証券	優	③費用のページが不明確
ひふみ投信	秀	なし

(出所) 筆者作成

投資信託をめぐる法律の中に「投資信託及び投資法人に関する法律」がある。これは、投資信託と投資信託を取り扱う機関についてのルールを示したものである。この中で、4.1の事実確認に関連した項目として「証券投資信託の販売に関する規制等」がある。今回は投資信託の販売について、「販売前」の情報、つまりホームページで掲載されている情報をもとに確認してきたため、この項目内の「販売前」に関わる4事項を各社において評価していく。4事項は以下の通りとする。

- ①分配金に関する説明(分配金の支払いによってその分の基準価額が下落すること・分配金の一部又は全部が投資家の元本の一部払い戻しに相当することがあること)
- ②契約締結前の情報の提供(投資信託契約前にあらかじめ投資家に対して当該金融商品取引契約の概要などの一定の事項に係る情報を提供すること)
- ③顧客が負担する費用に関する説明(勧誘を行う投資信託の販売手数料及び購入代金に応じた販売手数料の金額やその概算値・購入後に顧客が負担することとなる費用)
- ④金融商品取引法の広告規制(ファンド名称又は種類・販売会社又は投資信託委託会社の名称・元本割れが生じる恐れがある旨とその理由や原因となる指標・契約締結前交付書面に記載すべき事項として提供される情報又は目論見書を十分に確認すべき旨、これらに関して明瞭かつ正確に最も大きな文字や数字と著しく異ならない大ききさで表示すること)

基本的に各社ともに法律を順守していることが前提であるため、評価はあくまでその先の、つまり「どれほど法律に則っているか」で評価している。評価としては減点方式として、法律と照らし合わせたときに改善点が見られる部分が1つあるごとに評価を1段階下げていくこととした。評価は秀・優・良・可としている。

結果は上部の表の通りであった。松井証券・ひふみ投信に関しては秀評価で、改善点は見られなかった。SBI証券については、投資信託商品の概要がログイン後でないと閲覧できないようになっていたため若干投資家に対してのハードルがあるという部分が改善点としてある。楽天証券とマネックス証券に関しては、両者ともに手数料の専用ページに説明が不足している点(購入時手数料以外の手数料項目に関する記述がなく、取引ガイド等のページまで移動しないと全ての項目についての説明に到達できない点)に改善の余地がある。

4.2 事実②：投資仲介機関側の利益と顧客側の利益の分配について

投資信託を購入する際・購入後にかかる手数料としては主に3つある。

まず、1つ目が商品購入時にかかる手数料である。商品の価格に上乗せして購入時手数料を支払う場合がある。

2つ目が信託報酬(運用管理費用)である。これは、投資信託を保有している間に毎日差し引かれるもので、運用会社・販売会社・信託銀行などに分配される。年率〇%という形式で投資信託の基準価額に反映されるので購入者は直接的に支払うわけではなく、間接的に支払うシステムになっている。

3つ目は信託財産留保額(解約時に発生する費用)である。これは、投資信託を売却する際に発生するコストを購入者が負担する場合に発生するが、ファンドによってはかからない場合もある。

表4 証券会社の収入構成

社名	購入時手数料	信託報酬	信託財産留保額
松井証券	0円	商品による	商品による
SBI証券	0円(例外あり)	最大3.41%	0.6%(買付時)～3.5%(換金時)
楽天証券	0円	商品による	商品による
マネックス証券	0円	商品による	商品による
ひふみ投信	0円	年率1.078%	0円

(出所) 各社HPより、筆者作成

上の表の通り、各社手数料体系となっている。

ここから、購入時手数料(今回調べた会社は全て0円のため)と信託財産留保額(簡略化のため)を除外し、信託報酬をもとに各社で投資信託を行った場合に仲介機関の利益となる部分と顧客の利益になる部分はこういった割合になるのかを考えていく。

ここで、今回取り扱う商品は各社の売上数(2026年1月7日時点)をもとにそれぞれ上位3商品を各会社の代表商品とする。ただし、年間売上が記載されていない会社に関しては月間売上数から上位3商品を取り出した。ひふみ投信に関してはランキングが掲載されていないため、総資産額等を踏まえた上位3商品を選んだ。また、SBI証券に関しては会員登録後でないと商品を閲覧できない仕組みになっていたため省いている。各社の売上数上位3商品は表5にまとめた。

表5 各証券会社の売上数上位3商品：各社HP説明資料による

社名	1位	2位	3位
松井証券	eMAXISSlim 米国株式(S&P500)	インバスコ 全世界厳選株式	三菱UFJ 純金ファンド
楽天証券	eMAXISSlim 全世界株式	eMAXISSlim 米国株式(S&P500)	楽天・プラス・S&P500 インデックス・ファンド
マネックス証券	eMAXISSlim 米国株式(S&P500)	eMAXISSlim 全世界株式	iFreeNEXT FANG+ インデックス
ひふみ投信 (出所) 各社HP	ひふみ投信	ひふみプラス	ひふみ年金

eMAXISSlim 米国株式(S&P500)と eMAXISSlim 全世界株式に関しては2社~3社で重複してランキングに入る結果となった。ここから、各社における売上数上位3商品に関して、投資仲介機関側の利益と顧客側の利益の割合を計算した。グラフ1~4は、各社の上位3商品に関して、2018年11月18日から2025年11月18日にかけて1年ごとに(18日の記録がない場合は前後1日の記録を使用)、仲介機関利益率(信託報酬)を1としたときの顧客利益率平均の推移を示している。顧客利益率平均とは、2018年~各年において算出した顧客利益率の合計を年数で平均したものである。例えば、2020年であれば2018年~2020年の顧客利益率の合計を2で割って出している。(顧客の利益率は前年からの基準価額の変動率として算出)グラフ5~10は、各商品について2018年~2025年の顧客側利益率(前年からの基準価額の変動率として算出)と仲介機関側利益率(信託報酬)の推移を比較したものである。

松井証券の上位3商品を分析すると、グラフ1のようになった。仲介業者の利益(信託報酬分)を1としたときの顧客利益率平均はeMAXISSlim 米国株式が最も高かった。次いで三菱純金ファンドが高く、インバスコ全世界厳選株式はゼロを下回る推移をしていた。eMAXISSlim 米国株式は、三菱UFJアセットマネジメントが提供しており、販売会社を限定する代わりに低い信託報酬を特徴としており、年率0.0814%と他の商品と比較するとかなり低いことが分かる。グラフ5はeMAXISSlim 米国株式について2018年から2025年にかけて1年ごとに顧客側利益率と仲介機関側利益率の変動を示している。ここから、インデックス運用(ある経済指標をもとに運用する手法)特有の、対象とする指標が急降下することによって基準価額が下がる現象が2022年(2021年~2022年)の位置に表れている。しかし、それにも関わらず顧客側利益率は仲介機関側利益率よりも上回っている。これも信託報酬の低さによるものだろう。それに対して、インバスコ全世界株式の顧客側利益率と仲介機関側利益率はグラフ6のようになった。インバスコ全世界株式は2018年から2025年にかけて基準価額が下落傾向にあり、顧客側利益率

の上下がかなり激しい。年単位で見るとこのようにリスクが高く、顧客側利益率が低い商品に感じるが、より細かい単位で(月単位・日単位)で見えていくと基準価額が上がっている場所もあるため、長期間保有するというよりは短期間向けの商品で、基準価額が急降下した時点で買い、その後基準価額が上がったタイミングで売るといった短期間向けの商品である可能性がある。最後に、三菱UFJ純金ファンドはグラフ1では仲介機関利益率を1としたときの顧客側利益率がプラスの状態を維持しながら推移しており、比較的安定しているように見える。グラフ7では三菱UFJ純金ファンドに関して顧客側利益率と仲介機関側利益率の推移を示している。ここから、金の値上がりの波に乗って顧客利益率が急激に上昇傾向にあることがうかがえる。グラフ1ではこの顧客側利益率平均の上昇が分かりづらいが、グラフ1の値を数字で見ると仲介機関側利益率を1としたときの顧客側利益率平均は2018年～2019年時点で14.7848であるのに対し、2024年～2025年時点で23.9339まで高まっている。更にこの値はそれぞれ前年の基準価額からの上昇率の平均から算出しており、既に上がっている基準価額に上昇を重ねているため、いかに顧客側利益率平均が上昇しているかが分かるだろう。

楽天証券の上位3商品を分析すると、グラフ2のようになった。3位の楽天・プラス・S&P500インデックス・ファンドに関しては2024年から2025年の1年間のみ記録されていたため、数値として2025年の部分にのみ算出することができた。全体としては2018年から2025年にかけて仲介機関利益率を1としたときの顧客利益率平均の割合はeMAXISlim全世界株式が最も高い数値で推移しており、次いでeMAXISlim米国株式が高く推移している。両者ともにeMAXISlimシリーズとなっており前述の通り低い信託報酬によって顧客利益率平均の割合が高くなっている。eMAXISlim米国株式と比べて全世界株式の方が更に低い信託報酬となっており、グラフ8の通りである。グラフ8では、eMAXISlim全世界株式の2018年から2025年にかけて顧客側利益率と仲介機関側利益率の推移を示している。グラフ5の米国株式の動きとほぼ一致した動きになっている。ただ、年によって顧客側利益率の値に若干の差が出ている。全世界株式の方が米国株式よりも信託報酬が低いことから顧客側利益率が米国株式よりもはるかに高くなっているという予想の反面、両者の顧客利益率にはあまり大きな差はないという結果であった。楽天・プラス・S&P500インデックス・ファンドは比較するにはデータが少ないということで分析できなかった。

マネックス証券の上位3商品を分析すると、グラフ3のようになった。仲介機関利益率を1としたときの顧客利益率平均は、eMAXISlim全世界株式が最も高い数値で推移しており、その次にeMAXISlim米国株式が推移している。iFreeNEXT FANG+インデックスは、上位2商品よりは低い水準で推移しているものの、プラスのまま維持している。この商品について個別で見るとグラフ9のようになっており、かなり上下が激しいことが分かる。しかし、上昇と下降がともに大きいことで持ち続けていても仲介機関利益率を1としたときの顧客利益率の平均がマイナスになることはないという結果に繋がっている。

ひふみ投信の上位3商品を分析すると、グラフ4のようになった。他の証券会社とは異なり、ひふみ投信は独自商品も取り扱っており、上位3商品に関しても独自商品となっている。仲介機関利益率を1としたときの顧客利益率平均はどの商品もプラスの数値で推移しているが、縦軸が0～16と小さい範囲となっているためeMAXISlimシリーズ等と比べるとかなり低い。グ

ラフ 10 の通り、ひふみ投信の個別の利益率比較を見ても顧客側利益率の推移は他社上位 3 商品と比べると低くなっているが、2021 年～2022 年の急降下でマイナス推移となってもグラフ 4 のように年数で平均をとるとプラス推移となっているため、長期間保有すると徐々に増えていくような商品に見える。ひふみ投信の上位 3 商品に関しては、商品ごとの動きにあまり大きな差が見られなかったため、商品ごとの比較はここでは割愛する。

4.3 情報開示の明確性と利益分配の関係について

4.1 の結果をもとに投資仲介機関 5 社の情報開示の明確性に関して独自に順位をつけた。順位の付け方としては、アクセス手順は 1 手順 1 点で合計点数とし、明確性(ミスリード有無)は「なし」で 0 点・「あり」で 2 点とし、救済措置は「多くある」で 1 点・「ある」で 2 点、「ほとんどない」で 3 点とした。(救済措置の「多くあるが、難易度高め」は難易度が高いという評価をもとに 0.5 点を加算している。)そして、法律的側面からの評価から、秀評価を 0 点、優評価を 2 点とした。これらの合計点を算出し、点数の低い会社が順位が高くなるように順位付けした。

表 6 仲介機関の情報開示の明確性 順位結果

仲介機関名	アクセス難易度	明確性	救済措置	法律的側面	合計点
1 位 ひふみ投信	4	0	1	0	5
2 位 松井証券	6	0	1.5	0	7.5
3 位 楽天証券	3	2	1	2	8
4 位 SBI 証券	3	2	2	2	9
5 位 マネックス証券	4	2	3	2	11

(出所) 表 2・表 3 をもとに筆者作成

グラフ 11 では、4 社の上位 3 商品(重複もあるため全 9 商品)に関して 2018 年～2025 年の仲介機関利益率を 1 としたときの顧客利益率平均を比較している。この商品別比較から、高い順に 1 点～9 点を付け、仲介機関ごとの上位 3 商品の仲介機関利益率を 1 としたときの顧客利益率平均の合計点数から順位付けを行う。年数によって顧客利益平均が入れ替わっているが、楽天・プラス・S&P500・インデックス・ファンドが 2024 年～2025 年の記録のみであるという都合上、2024 年～2025 年(グラフ上の横軸 2025 年の場所)から順位付けを行う。

表 6 仲介機関の顧客利益率平均(仲介機関利益を 1 としたときの) 順位結果

仲介機関名	1 位	2 位	3 位	合計点数
1 位 楽天証券	eMAXISSlim 全世界株式	eMAXISSlim 米国株式	楽天・プラス・S&P500 インデックス・ファン ド	(1 点+2 点+3 点) =6 点
2 位 マネックス証券	eMAXISSlim 米国株式	eMAXISSlim 全世界株式	iFreeNEXT FANG+ インデックス	(2 点+1 点+4 点) =7 点
3 位 松井証券	eMAXISSlim 米国株式	インバスコ 全世界厳選株 式	三菱 UFJ 純金ファンド	(2 点+9 点+5 点) =16 点

4位 ひふみ投信	ひふみ投信	ひふみプラス	ひふみ年金	(7点+8点+6点) =21点
----------	-------	--------	-------	--------------------

(出所) グラフ 11 をもとに筆者作成

表 5・表 6 から情報開示の明確性と利益分配の関係について考えていく。まず、両方の順位が 3 位以内と高い評価となっている楽天証券は、情報開示の明確性に関しては改善の余地があるものの、楽天経済圏の人々が楽天証券に参加することや他の様々なサービスによる「楽天」の認知度もあり、証券会社としての投資家(ユーザー)保有数は非常に多いと考えられ、初心者でも始めやすい部分が「短時間で成果を得られるような顧客利益率の高い商品に投資しよう」という投資家の志向に繋がり、表 6 の高い順位になったのではと考えられる。表 6 の順位が高いマネックス証券に関しても、楽天証券の投資家同様の志向が見られるが、表 5 は最下位ということで投資経験のある人々がユーザーとして多いために情報開示の明確性はさておき顧客利益率平均が高くなっている可能性が考えられる。対して、ひふみ投信・松井証券に関しては情報開示の明確性が高い順位である一方で、顧客利益率平均は下位となっている。ひふみ投信に関しては投資初心者が多いことや「少しずつコツコツと増やしていきたい」という安定志向のユーザーが多いことが情報の明確性(初心者でも分かりやすく、始めやすい形式)と顧客利益率平均(長期間保有によって着実に増やしていく商品)の結果に繋がったと考えられる。松井証券に関しては、表 6 の 2 位に位置するインベスコ全世界厳選株式によってかなり順位を下げているが、投資スタイルの他社との違いがここに表れていると考えられる。全体としての利益率平均は下がったものの、インベスコ全世界株式の人気が高いのは恐らく「基準価額が下がった時に購入する」という商品だからであり、今回分析の際には 2018 年に購入したときの顧客利益率平均になっていたが、基準価額が下がってから購入したときにはまた異なった結果となった可能性がある。松井証券は情報開示の明確性が高いために投資初心者向けでもある一方で、前述の通りインベスコ全世界株式を購入するような投資スタイルからは投資経験のあるユーザーも幅広く存在するためにこのような結果になったと考えられる。

全体を通して、両者の関連性は低いという結果になった。ただ、直接的な関連性はないとしても上記のとおりユーザーの投資経験の差や投資志向の違いによって間接的には関連している可能性がある。各社のユーザーに関するデータがあるとより深い考察・分析ができるだろう。

5 まとめ

本稿では、投資信託における情報開示の明確性と利益分配の関連性について考えてきた。

情報開示の明確性に関しては仲介機関によってターゲット層の違いやユーザーの投資志向が異なるために、情報開示の手法やどこまで開示してどこまで省略するかという部分の判断が変わってくるのではないかと感じた。ただ、筆者としては前提として誰が見ても分かりやすいフォーマットを各社は目指すべきだと考える。故意でないとしても投資家に誤解を与えてしまうと、後々両者にとって気持ちいい取引が成立しなくなってしまう。各社がある一定のタイミングで既存のフォーマットを見直し、改善を加えていくことは仲介機関・顧客両者が納得した契

約に繋げる上で非常に重要なことだと感じた。また、そのために顧客が投資の仕組みや制度・取引ルールを認識した上で契約することも重要である。

利益分配に関する分析はまだ再考すべき点があると感じた。今回は仲介機関側の利益率と顧客側の利益率との割合を算出して比較したが、2018年～2025年の年ごとに追っているためにデータ数が少なく精度が低いという懸念点がある。加えて、仲介機関側の利益を信託報酬として考えたが、より現実的な値(仲介機関側のコストを差し引く・付随する他の利益分を加える等)で考える必要があると感じた。

この研究を進めるあたり、筆者自身の「投資に対する疑い」が出発点となっていたが結論としては「投資はかなりしっかりとした、ある意味この社会で最も現実的な経済取引である」となった。元々持っていた投資への疑いは「少ない元手で大金を生み出せますよ」等といった広告や、投資詐欺によって一般の人々が損をする状況から投資業界全体に抱いたものであり、そのために今回はリアルな投資について知ってみようと考えたのである。投資信託に焦点を当てて調べていくと、投資信託の根底にあるのは「少なくとも良いから着実に増やしていきましょう」という精神であり、投資信託というものを取り巻く法律や制度には「元本割れするリスクを明記しましょう」「投資信託の仕組みを投資家に分かるように示しましょう」といった仲介機関と投資家の立場を対等にしてくれるようなものが多く存在していた。ここから「投資」はリスクとリターンが確実に存在し、そのバランスを鑑みて投資家は選択していくという、筆者の予想よりも遥かに現実的な経済取引だということが分かった。この結論に至ったことにより、疑念は無くなりスッキリとした態度で投資と向き合えるようになった。

6 今後の展望

今後は、2つの要素を加えて考察していきたい。1つはデータ改善の要素である。今回用いたデータに加えて、各社のユーザーに関するデータがあればユーザーの投資経験・投資志向と情報開示の関連性を考察したい。また、顧客利益率平均に関してもデータ数を細かく刻み、増やしていくことや仲介機関側の利益率を現実的な値に近づけることでよりデータとしての精度を高めたい。2つ目は新しい視点の要素である。今回の顧客利益率平均は仲介機関側利益を1としたときの値を年数で割ったものであるが、かなり顧客有利な結果が出てきた。それならば、「どこの部分で仲介機関は利益を出しているのか」が気になってくる。少し調べてみると、「短期間で成果を上げようとする投資家から利益を得る」方法や「顧客を集めることで最終的に付随サービスから利益を得る」方法など、単純な利益構造ではなさそうなのである。この要素について深掘りすることで、投資信託構造だけではなく様々な経済サービスの仕組みに繋がる考察ができるのではないかと考えている。

参考文献

【インターネットページ】

・松井証券ホームページ

<https://www.matsui.co.jp/>

(2026年1月12日アクセス)

- ・SBI証券ホームページ

<https://www.sbisecc.co.jp/ETGate/>

(2026年1月12日アクセス)

- ・楽天証券ホームページ

<https://www.rakuten-sec.co.jp/>

(2026年1月12日アクセス)

- ・マネックス証券ホームページ

<https://www.monex.co.jp/>

(2026年1月12日アクセス)

- ・ひふみ投信ホームページ

<https://hifumi.rheos.jp/>

(2026年1月12日アクセス)

資料

1. アクセス手順写真(各社HPから引用)

※写真①～⑤ 手数料体系のアクセスの流れ

(①トップページ→②③手数料ページ→④手数料詳細ページ→⑤投資信託のコストに関する説明)

※写真①～⑤ リスクに関する説明までのアクセスの流れ

(①トップページ→②③手数料ページ→⑥手数料詳細ページ続き→⑦リスクおよび手数料などについての説明ページ)

1



2

投資をまじらば、おもしろく。 **MATSUI** 証券証券

お問い合わせ | よくあるご質問 | 会社案内・情報 | English | サイト検索

はじめの方へ | 会社・取引 | 手数料 | サービス | ツール | キャンペーン | マーケット情報 | お客様サポート | [口座開設](#) | [ログイン](#)

商品一覧 | 日本株 | 外国株 | 投資信託 | FX | 売買オプション | NISA | iDeCo | 銀行 | [クレカ決済](#)

松井証券ホーム > 手数料

手数料

松井証券では「ボックスレート」を始め、お客様が利用しやすい手数料体系となっています。

日本株 | 現物取引 | 日本株 | 信用取引 | 米国株 | 投資信託

FX | 売却・オプション | NISA | iDeCo

お電話でのお取引手数料 | その他・利用料等

日本株

現物取引

現物取引・信用取引の1日の約定代金合計で、手数料がシンプルに決まる！
 信用取引しても定額手数料で安心！「ボックスレート」

1日約定代金合計金額	200万円以上	200万円以下(未成年含む)	取引所とPTBとの取引を合わせた1日の約定代金合計によって手数料が決まります。
------------	---------	----------------	---

3

投資信託

購入時手数料 0円

[投資信託の手数料詳細を見る](#)

[投資信託 TOPへ](#)

FX

手数料 0円

4

投資信託 手数料

松井証券で取り扱う投資信託の手数料についてご紹介します。

投資信託の購入時手数料

取扱い投資信託は、購入時手数料無料

松井証券は、「無コスト」であることがお客様の運用成績に好影響を与えるという考えのもと、徹底した無コストを推進しています。

コスト次第で運用成績は大きく変わる [松井証券の「徹底無コスト」](#)

投資信託は購入時手数料以外にもコストが発生します。詳しくは、[投資信託のコスト](#)をご覧ください。

まだ投資信託口座をお持ちでない方は、インターネットで今すぐお申込み！

松井証券の総合口座をお持ちでない方 | [松井証券の総合口座をお持ちの方](#)

- 投資信託
- 手数料
- 投資信託 その他
- 最大1%貯まる投資信託ポイントサービス
- クレカ決済
- 取扱い投資信託
- 取引ルール
- 口座開設までの流れ
- 投資信託口座に申し込む方法
- お取引の流れ
- 口座アドバイザー

取扱商品のリスクおよび手数料等の説明 | 投資信託について

投資信託について

- ・投資信託は、価格の変動等により損失が生じる可能性があります。
- ・投資信託の購入時手数料は無料ですが、信託報酬等の諸経費を負担いただきます。
- ・当社の投資信託サービスではお客様のリスク許容度に応じて投資信託を組み合わせたポートフォリオによる資産運用方法をご提案します。ポートフォリオのご提案はファンドラップ投資（任意）に基づくサービスではありません。
- ・当社の投資信託サービスで提案する「成長投資コース」のモデルポートフォリオの信託報酬は年率0.13%（税込0.15%）です（2024年10月17日時点）。
- ・当社の投資信託サービスでは当社が想定した顧客へのお客様の属性に応じて、投資信託を一定の条件に従って並び替えて複数表示します。
- ・当社の投資信託サービスではお客様が入力した投資信託と当社が設定した条件が類似した銘柄を、一定の条件に従って並び替えて複数表示します。
- ・当社がポートフォリオおよび個別の投資信託について表示する各種情報は、将来の市場環境の変動等を前提としており、将来の運用成果を保証していません。
- ・ファンドスコアは、QUICK資産運用研究所が過去の一定期間の業績を分析したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・最大10年間の投資信託運用パフォーマンスは、投資信託に応じて毎月ポイントが還元され、平均保有金額の変動により還元額も変動します。投資信託によって還元率は異なります。ETF、米ドルAMFはサービスの対象外です。還元には毎月エントリーが必要となります。
- ・分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。また、今後の運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。
- ・ブルベア指数は、ヘッジファンド型の投資信託の価格の上昇率・下落率は、2営業日以上の連続の場合、同期間の原資産の上昇率・下落率に一定の差率を乗じたものと見做されます。それが長期にわたって継続することにより、期待した投資成果が得られない場合があります。
- ・ブルベア指数の投資信託は、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。
- ・投資にあたっては、当社WEBサイトの目録掲載、目録掲載の「収益分配金に関する留意事項」、取引履歴、取引ルール等をご覧いただき、内容を十分ご理解のうえ、ご自身の判断に基づきお申し込みください。

※写真⑧～⑬ 手数料ページまでのアクセスの流れ

(⑧トップページ(サービスタブ→手数料)→⑨⑩手数料ページ)

※写真⑧・⑪～⑬ リスクに関する説明までのアクセスの流れ

(①トップページ→⑪⑫タブページ(投資信託→ご注意事項)→⑬投資信託 お取引ご注意事項ページ)



SBI証券

投資信託

投資信託を取りたいメニュー

- ファンド検索
- ランキング
- 新商品集
- お気に入り

投資信託 Myメニュー

- 口座管理
- 取引明細
- サービス設定

はじめての方へ

はじめての投資信託

投資信託 案内メニュー

- 操作ガイド
- 投資信託情報
- はじめての方へ
- はじめての投資信託
- 投資信託 案内メニュー
- 操作ガイド
- 投資信託情報
- 投資信託目録(レンダリング)
- 投資信託からの印刷レポート
- 分配金カレンダー
- 分配金通帳
- 投資信託一覽
- 投資信託一覽
- PDF

ご登録事項

投資信託 新規に投資信託

毎月または毎月分配金投資の
収益分配金およびNISAでの
ご登録事項。必ずご登録
事項が投資信託に紐づくこと
を要します。

サポート

SBI証券のセキュリティ/監
理サービス

SBI証券のセキュリティ/監
理サービス

投資信託

SBI証券で投資信託を取りたい

- タテカ立
- 毎日・毎週・毎月自由に購入
- アプリで実行
- おトクな投資マイレージ
- 銀行からの自動引当でらくらく
取引
- 業界最速の取引時間(※)
※ロンドン市場まで
- 投資が引越プログラム
- 知な情報を品揃え

NISAやるなら! 投資信託もやる! /

証券総合口座開設

「ファンドを探す」

ファンド名・会社名等

検索

ファンド検索はこちら

追加銘柄キーワードから探すはこちら

※「追加銘柄キーワード」は「追加」ボタン、ログインが必要です。

ネットワード

NASDAQ アジア (インド等) コモディティ (ゴールド等)

債券 高配当 (SCHD等) eMAXIS Slim

新NISA対象商品

ついでに投資信託 投資信託 SBIプレミアムセレクト

証券総合口座開設

「ファンドを探す」

ファンド名・会社名等

検索

ファンド検索はこちら

追加銘柄キーワードから探すはこちら

※「追加銘柄キーワード」は「追加」ボタン、ログインが必要です。

ネットワード

NASDAQ アジア (インド等) コモディティ (ゴールド等)

債券 高配当 (SCHD等) eMAXIS Slim

新NISA対象商品

ついでに投資信託 投資信託 SBIプレミアムセレクト

SBI証券厳選コンテンツ

- SBI Fund Weekly
- インデックスに勝ったファンドは?
- SBIセレクト

投資信託ランキング

販売金額 期間: 2025/12/29 ~ 2025/12/30

換立件数増加 期間: 2025/12/1 ~ 2025/12/31

投資信託ランキング

販売金額 期間: 2025/12/29 ~ 2025/12/30

換立件数増加 期間: 2025/12/1 ~ 2025/12/31

1 → eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)

2 → eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)

3 → SBI i シェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジなし)

4 → SBI i シェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジなし)

5 → eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)

ランキング詳細>

NISA販売金額 期間: 2025/12/29 ~ 2025/12/30

トータルリターン 期間: 2024/12/1 ~ 2025/12/30

1 → eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)

2 → eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)

3 → iFINE NEXT FANG インデックス

4 → eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)

5 → 楽天日本株、3倍Plus

6 → SBI 日本株4、3倍

7 → SBI 日本株4、3倍

8 → ブラックロック・ゴールド・ファンド

ランキング詳細>

ランキングに関するご注意事項

- ・各ランキングの順位およびNISA販売金額以外のランキング情報はご登録の口座ごとに、ログインが必要です。
- ・本ランキングは、過去1年以内の国内市場での販売実績 (各投資信託の換立件数増加率、NISA販売金額、対A向けファンドのみを対象とする。) の販売実績を基に、順位に基づいて行っています。
- ・グラフの横軸 (x軸) は「インデックス」の対数表示です。対数表示は、対数とする数値の増減により、非常に大きな増減を捉えることがありますが、この点にご注意ください。
- ・本ランキングは過去のデータであり、将来の運用成績を証言または保証するものではありません。
- ・本ランキングは、特定の銘柄の買付を目的として行われるものではありません。

特集レポート・キャンペーン

2025/12/9 掲載

「おまごら」日本株式ライセンス・ファンド (買付: まくまご) 運用成績を徹底解説! YouTubeチャンネルはこちら

13

お取引注意事項のご注文の際は商品名の「ご注文事項」を必ずご確認ください

商品名	内容	投資信託	投資信託	投資信託	投資信託
金・プラチナ・銀	金 (レバレッジ・ショート)	外国債券投資	外国債券投資	外国債券投資	外国債券投資

投資信託のご注意事項

※重要 「毎月分配」または「毎月配当」の投資信託を購入されるお客さまは、お取引の際必ず「毎月分配型投資信託の収益分配およびNSAのご注意事項」を、ならびに当該投資信託に関するご注意事項の4の留意事項を必ずお読みください。

投資信託は、債権や債券を投資対象としています。そのため、為替レートや債券の価格や発行体の信用状況の変化等により、投資信託が下落し損失を被ることがございます。更に、外債投資信託及び外債の株式や債券等を投資対象としている投資信託については、為替相場の変動により損失を被ることがございます（金・プラチナ・銀の投資信託及び外債の株式や債券等を投資対象とする投資信託を除く）。

NSAは取引の開始（NSA口座でのお取引のご注意事項）を、あらかじめご確認ください。NSA取引のご注意事項（投資信託）についても併せてご確認ください。

なお、投資信託は、投資信託の購入、売却、入金・引き出し（NSA取引）の取り扱い、保有期間、解約手数料に注意する必要があります。また、投資信託の運用サービスをご利用の際は、必ずお読みください。

投資信託の運用サービスは、以下の点にご注意ください。

ご注文の投資信託は必ず指定の入金口座（注文時のご注文事項）を、必ずお読みください。また、投資信託の運用サービスは、必ずお読みください。

お取引を開始し、4日追加取引の投資信託（4日追加）または移入購入済みの投資信託（4日追加）全額解約する場合は、以下の点にご注意ください。

お取引を開始し、4日追加取引の投資信託（4日追加）または移入購入済みの投資信託（4日追加）全額解約する場合は、以下の点にご注意ください。

取引日	取引時間	入金	入金	入金
取引日	取引時間	入金	入金	入金

お取引を開始し、4日追加取引の投資信託（4日追加）または移入購入済みの投資信託（4日追加）全額解約する場合は、以下の点にご注意ください。

取引日	取引時間	入金	入金	入金
取引日	取引時間	入金	入金	入金

お取引を開始し、4日追加取引の投資信託（4日追加）または移入購入済みの投資信託（4日追加）全額解約する場合は、以下の点にご注意ください。

※お取引の開始（NSA口座でのお取引のご注意事項）を、あらかじめご確認ください。NSA取引のご注意事項（投資信託）についても併せてご確認ください。

なお、投資信託は、投資信託の購入、売却、入金・引き出し（NSA取引）の取り扱い、保有期間、解約手数料に注意する必要があります。また、投資信託の運用サービスをご利用の際は、必ずお読みください。

投資信託の運用サービスは、以下の点にご注意ください。

ご注文の投資信託は必ず指定の入金口座（注文時のご注文事項）を、必ずお読みください。また、投資信託の運用サービスは、必ずお読みください。

お取引を開始し、4日追加取引の投資信託（4日追加）または移入購入済みの投資信託（4日追加）全額解約する場合は、以下の点にご注意ください。

お取引を開始し、4日追加取引の投資信託（4日追加）または移入購入済みの投資信託（4日追加）全額解約する場合は、以下の点にご注意ください。

※写真 14~22 手数料ページまでのアクセスの流れ
 (14 トップページ→15・16 手数料タブページ投資信託)
 ※写真 14・17~21 リスクに関する説明までのアクセスの流れ
 (14 トップページ→17・18 投資信託ページ→19・20・21 取引ガイドページ下部)
 22 は費用の詳細ページ

14

The screenshot shows the Rakuten Securities website interface. At the top, there are navigation tabs for 'Rakuten 最強U-NEXT' and 'Rakuten 楽天証券'. Below the navigation, there are several promotional banners, including one for 'インフレ×株高時代の『投資の眉付け』楽天証券 新春フォーラム2026' and another for '2026年 オリコン顧客満足度調査 ネット証券 第1位'. The main content area features a large 'お客様満足度 No.1' banner. On the right side, there is a login section with fields for '総合口座ログイン', 'パスワード', and 'ID/パスワードでログイン'. At the bottom, there are more promotional banners for various services like '最大1万円分の豪華プレゼント' and 'かぶビザ'.

楽天証券は多くのお客様にご利用いただいています。

15

Rakuten U-NEXT 月額2,880円(税込) 2,880円/月 (税込) 3,960円/月

Rakuten 楽天証券

国内株式取引するなら楽天証券!

取引手数料 0円

※1 NISA口座 楽天証券 専任: 日本経済新聞「NISA口座の開設・利用状況」が10月発表開始より最多 (2019年6月発表)

※2 本コースに適用の上、税込2万円と税込50万円未満は異なります。

※ NISA 国内株式 外国株式 投資信託 売買指値 売買
 ※ 売買オプション 海外先物 金・FX CFD パナソールオプション
 ※ 外国株 金・プラザ 各種手数料

16

いまずく口座開設(無料)

投資信託 (外貨建てMMF)

投資信託 取引手数料0円

外貨建てMMF 取引手数料0円

運用	取引手数料
楽天外貨建てMMF	±25銭
楽天アメリカンリート建てMMF	±25銭
楽天ムルコリート建てMMF	±15銭

※ 外貨建てMMFや海外株の取扱手数料は、14日(18時)以降に決定いたします。

※ 外貨建てMMFの手数料詳細を見る

楽天証券ラップサービス (愛称: 楽ラップ)

固定報酬型にかかる料率 (税込・年率)

資産残高の年度平均額 (2019年10月1日時点)	投資信託料	外貨円換手数料	合計
1,000円以下の部分	0.550%	0.715%	
1,000円超5,000万円以下の部分	0.185%	0.495%	0.680%
5,000円超1億円以下の部分		0.440%	0.605%
1億円超の部分		0.385%	0.550%

17

Rakuten U-NEXT 月額2,880円(税込) 2,880円/月 (税込) 3,960円/月

Rakuten 楽天証券

楽天・ゴールド 楽天・プラチナ

プラチナファンドが国内初登場!

希少性の高い実物資産に、投資信託でかんたん投資!

2016 NISAスタート
ザシムキーンベン

海外株の購入・売却に際しては、納税額がゼロになる仕組み!

最優秀ファンド連続受賞中
今すぐチェック!

海外株の購入・売却に際しては、納税額がゼロになる仕組み!

1万円以上の購入で
最大1万円分優待!

投資信託を採択する >
様々な部分で税金に
あわせて納税額がゼロになる
仕組みが実現されています

取引ガイド >
投資信託の購入方法
について詳しく見ます

クレカ積立 >
投資信託の積立をしながら
海外株も購入できます

積立シミュレーション >
積立の額と売却額の入力で
積立の利益と売却額を
試算することができます

かんたん積立講座 >
積立投資の始め方から
積立のメリットまで
詳しく解説します

投資信託

- ・ 投資信託の採択 (投資信託)
- ・ 積立制度も使える
- ・ 海外株も採択
- ・ サービス交換・併用
- ・ 投資信託の採択
- ・ 投資信託の採択

18



19

取引ガイド

投資信託とは？

投資信託（ファンド）とは、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用のプロであるファンドマネージャーが株式や債券などに投資・運用し、その運用の成果によって生まれる利益を投資家に還元する金融商品です。

投資信託を取引するには（操作ガイド）

購入する・積立する 投資状況・積立状況を確認する 売却する

▶ 外貨建信託を取引するには

よくあるご質問

よくあるご質問

- ① 「楽天キャッシュ（電子マネー）」や「楽天カードクレジット決済」で1月に積立設定をしたのに積立額が0円のままなのはなぜですか？
- ② 投資信託の積立設定や買い注文をしたのに保有残高が0円のままなのはなぜですか？

サービス

ポイントを貯める

- ▶ 楽天キャッシュ（電子マネー）で投資信託 ▶ クレジット決済（楽天カードクレジット決済）でSPU
- ▶ 楽天証券ポイントプログラム ▶ 楽天証券ポイント（リビビープログラム）

ポイントを使う

- ▶ ポイント投資

メール通知サービス

- ▶ 投資信託お知らせメール ▶ 投資信託連絡メール

移管（入庫・出庫）

- ▶ 入庫 ▶ 出庫

資産形成・取り崩し

- ▶ 投資信託の積立 ▶ 投資信託の減らす引当方法 ▶ 定期定額サービス

取引ルール

資産形成・取り崩し

- ▶ 投資信託の積立 ▶ 投資信託の減らす引当方法 ▶ 定期定額サービス

取引ルール

取引時間

- ▶ 取引時間/注文受付時間 ▶ 基準価格が決定するタイミングは？ ▶ 投資信託の休日 ▶ 取引ルール
- ▶ 外貨建信託買付日カレンダー

費用

- ▶ 投資信託の費用 ▶ 投資信託の税金 ▶ 投資信託等に係る二重課税問題について

分配金

- ▶ 分配金について ▶ 「分配型ファンド」とは？ ▶ 分配金コース変更 ▶ 分配金自動積み込みサービス
- ▶ 分配金カレンダー

20

投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、買付手数料等の費用が異なりますので、当該商品の詳細を、契約締結前交付書面等よく読み取り、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

投資信託の取引にかかるリスク

- ▶ 追加投資対象が閉鎖的
組み入れた株の流動性により参加額が上下しますので、これにより投資元本を割り込む可能性があります。
- ▶ 基金投資対象の買値が変動
金利の変動等による組み入れ債券の価格変動により参加額が上下しますので、これにより投資元本を割り込む可能性があります。

22

ファンド検索・商品一覧

新規投資情報ファンドロ

条件からファンドを検索
すべての投資商品の購入申込手数料は無料（シーロード）

ファンド名、銘柄、キーワード

ファンドタイプ
 国内株式型 (299) 国内債券型 (45) 国際株式型 (719) 国際債券型 (298)
 不動産投資型 (143) 商品商品 (レバナス) 型 (303)
 商品商品 (ブル・ベア型) (40) 商品商品投資型 (12)
 NISA適合投資型 (1299) NISAつみたて投資型 (273)

NISA
 インデックスファンド (491) セレクトファンド (9) つみたて可能 (1824)
 100円からつみたて可能 (1801) クレカ積立可能 (1745)

特色
 信託報酬率
 トータルリターン

検索結果: 1863件

おすすめ検索条件

NISA対応 金・ゴールド 全世界 オールカントリー 高配当 好配当 ポイント付与率0.26%

ファンド名	ファンドタイプ	最新資産総額(円) 前日比	純資産総額(円) (8/27)	1年未満リターン(%) (3M)	信託報酬率(%)	レーティング(5段階)	信託報酬率(%)	お気に入り	比較
eMAXIS Slim 米国株 (S&P500)	国内株式型	39,561 +0.28%	9,851,783	+29.80%	0.0814%	★★★★★	0.0577%	☆	□
eMAXIS Slim 全世界株式 (オールカントリー)	国内株式型	33,687 +0.54%	9,201,056	+27.69%	0.0577%	★★★★★	0.0577%	☆	□
アライアンス・バースタイン・米道産債券(米国) 海外債券型 (海外ヘッジなし) 海外債券型	国内株式型	11,049 +0.42%	3,433,138	+28.17%	1.727%	★★★	1.727%	26	□
インベスコ 世界新興市場オープン・ヘッジヘッジなし (海外債券型) (海外:世界のみ)	国内株式型	9,082 +0.99%	3,167,682	+25.35%	1.907%	★★★★	1.907%	9	□
SBI・V・S&P500インデックス・ファンド (海外: SBI・V・S&P500)	国内株式型	36,172 +0.29%	2,591,303	+29.80%	0.038%	★★★★★	0.038%	43	□
楽天・全米株式インデックス・ファンド (海外: 楽天・VTI)	国内株式型	39,928 +0.38%	2,272,415	+29.06%	0.162%	★★★★	0.162%	59	□
アライアンス・バースタイン・米道産債券(米国) 海外債券型 (海外ヘッジなし) 海外債券型	国内株式型	83,563 +0.41%	1,854,893	+28.35%	1.727%	★★★	1.727%	13	□
eMAXIS Slim 先進国株式インデックス (海外:日本)	国内株式型	40,553 +0.37%	1,158,608	+28.52%	0.088%	★★★★★	0.088%	35	□
IFREENEXT FANG+インデックス	国内株式型	82,953 +0.34%	991,483	+61.15%	0.775%	★★★★★	0.775%	12	□
三菱FJ 純金ファンド (海外:ファイナゴール)	国内株式型	53,894 +0.13%	826,788	+39.94%	0.996%	★★★★★	0.996%	11	□
eMAXIS Slim 全世界株式 (海外:日本)	国内株式型	34,027 +0.47%	960,894	+27.87%	0.0577%	★★★★	0.0577%	58	□
IFree S&P500インデックス	国内株式型	43,875 +0.57%	817,080	+29.71%	0.168%	★★★★	0.168%	78	□
Oranプラス	国内株式型	75,037 +2.02%	673,871	+17.57%	1.078%	★	1.078%	92	□
ニッセイ外国株式インデックス・ファンド (海外: 海外ヘッジなし)	国内株式型	53,550 +0.37%	983,938	+28.48%	0.088%	★★★★★	0.088%	52	□
eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)	国内株式型	27,871 +1.76%	476,400	+24.52%	0.143%	★★★★★	0.143%	28	□
ピクサー・ゴールド (海外:ヘッジなし)	国内株式型	40,228 +2.23%	878,584	+39.50%	0.789%	★★	0.789%	44	□
たのしロード 先進国株式	国内株式型	43,663 +0.37%	1,069,137	+28.48%	0.088%	★★★★★	0.088%	94	□
野村世界債券(海外)シリーズ (世界債券型)	国内株式型	254,547 +1.04%	606,075	+70.45%	1.82%	★★★★★	1.82%	---	□

マネックス証券

はじめの方へ 手数料 商品・サービス アプリ・ツール 投資情報 お客様サポート

株式取引 債券取引 米国株・米国債 投資・積立 債券 FX 増資・買戻 先CP 金・プラチナ おまかせ運用 NSA eNCA 私募ファンド 商品投資

ホーム > 商品・サービス一覧 > 投資信託・投資つみたて

投資信託・投資つみたて

はじめの方はこちらから

dカードユーザーが選ぶ！ 投資積立銘柄ランキング

初心者向け 初心者コース

口座開設

投資信託・投資つみたて

ファンド検索 (商品一覧) ランキング 新発株ファンド

投資つみたて クレカ積立 ポイント投資 投資保有ポイント 外債建てMPF サービス特選

購入・売却のご留意事項 優遇利率優待の利用について 投資信託 初心者コース

Have a good time 真に楽しむ 投資の楽しさ

dカードユーザーが選ぶ！ 投資つみたて銘柄ランキング

0.26%

このサイトはCookieを使用しています。「承認」を押すか、サイトの操作を行うことでCookieの使用を承認したことになります。Cookieポリシー 承認 X

マネックス証券

はじめの方へ 手数料 商品・サービス アプリ・ツール 投資情報 お客様サポート

株式取引 債券取引 米国株・米国債 投資・積立 債券 FX 増資・買戻 先CP 金・プラチナ おまかせ運用 NSA eNCA 私募ファンド 商品投資

ホーム > 商品・サービス一覧 > 投資信託・投資つみたて > 初心者コース

初心者コーナー 投資信託

ゼロから学ぶ はじめての投資信託

投資信託の概要や魅力をご案内

投資信託 (ファンド) の魅力

プロが運用 手軽に投資信託 申込手数料が無料

経済・金融の知識に精通した専門家が運用します。個人では難しい、細かい情報の集約に投資できます。 仕組も知る

様々な資産 (株式や債券)・様々な国や地域に分散投資の少額で分散投資できます。 投資対象を知る

マネックス証券なら、すべての投資信託の購入時手数料が無料です。 費用を知る

0円

投資信託・投資つみたて

ファンド検索 (商品一覧) ランキング 新発株ファンド

投資つみたて クレカ積立 ポイント投資 投資保有ポイント 外債建てMPF サービス特選

購入・売却のご留意事項 優遇利率優待の利用について 初心者コーナー

このサイトはCookieを使用しています。「承認」を押すか、サイトの操作を行うことでCookieの使用を承認したことになります。Cookieポリシー 承認 X

※SBI証券はログインが必要となるためデータから外した。また、ひふみ投信はランキングが掲載されていないために写真添付無)

37(松井証券)

ファンド名	資産クラス	基準価額 (前日比)	純資産	順位 [?]	最大1%貯まる投 信強高ポイントサ ービス [?]
eMAXIS Slim 米国株式 (S & P 500) N成長 iDeCo	先進国株式	↑ 39,561円 (+104円)	98,617.8 (億円)	1	0.0280%
インベスコ 世界厳選株式オープン<為 替ヘッジなし> (毎月決算型)	先進国株式	↑ 9,082円 (+89円)	31,676.8 (億円)	2	0.8000%
三菱UFJ 純金ファンド N成長	コモディテ ィ	↑ 53,894円 (+71円)	8,267.9 (億円)	3	0.2250%

38(楽天証券)

ファンド名 愛称	楽天証券分類	ファンドス コア (3年)	基準価額 前日比率	管理費用	純資産 (億円)	買付 ランキング (全銘柄)	お 気 に 入 り	比 較
eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カ ントリー) オルカン	先進国・新興国株 式(広域)-為替ヘ ッジ無し	★ 4/5	33,687円 +0.54%	0.05775%	92010.56	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	米国株式-為替ヘッ ジ無し	★ 4/5	39,561円 +0.26%	0.0814%	98617.83	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
楽天・プラス・S&P500インデックス・ファ ンド 楽天・プラス・S&P500	米国株式-為替ヘッ ジ無し	★ -	17,604円 +0.26%	0.077%	8448.41	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

39(マネックス証券)

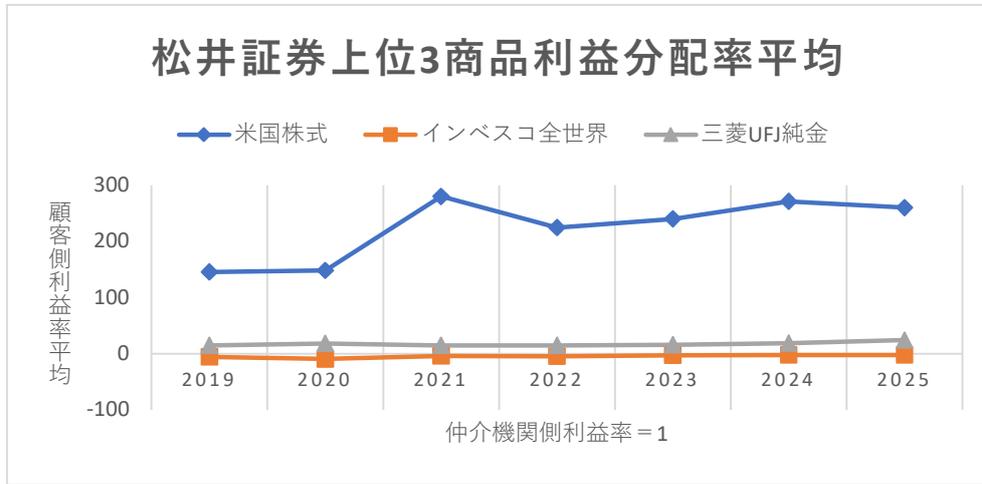
月間積立契約件数 [?]

NISA月間積立契約件数 [?]

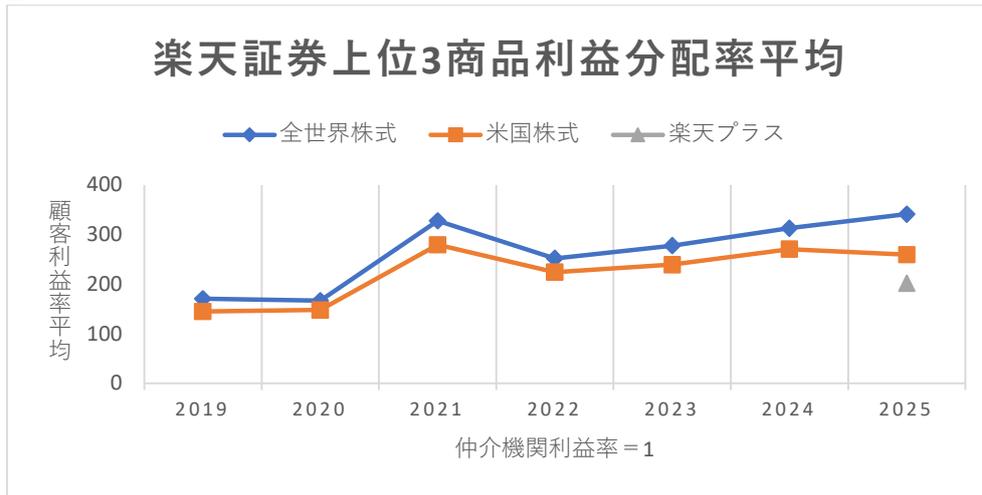
2025年12月01日~2025年12月31日			2025年12月01日~2025年12月31日		
順位	前月比	銘柄名	順位	前月比	銘柄名
1	→	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500) NISA成長枠 NISAつみたて枠	1	→	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500) NISA成長枠 NISAつみたて枠
2	→	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー) NISA成長枠 NISAつみたて枠	2	→	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー) NISA成長枠 NISAつみたて枠
3	→	iFreeNEXT FANG+イン デックス NISA成長枠 NISAつみたて枠	3	→	iFree S&P500インデック ス NISA成長枠 NISAつみたて枠

3. グラフ

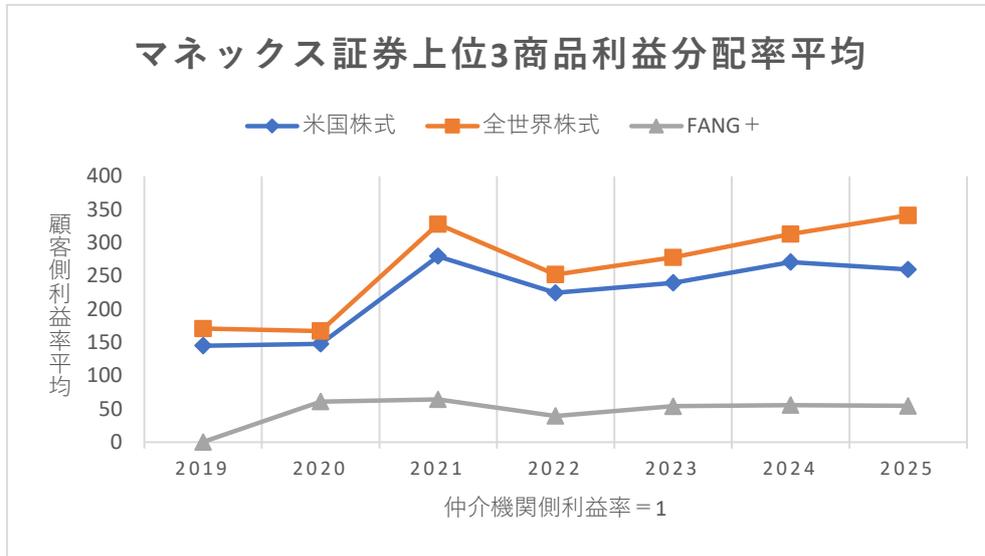
1



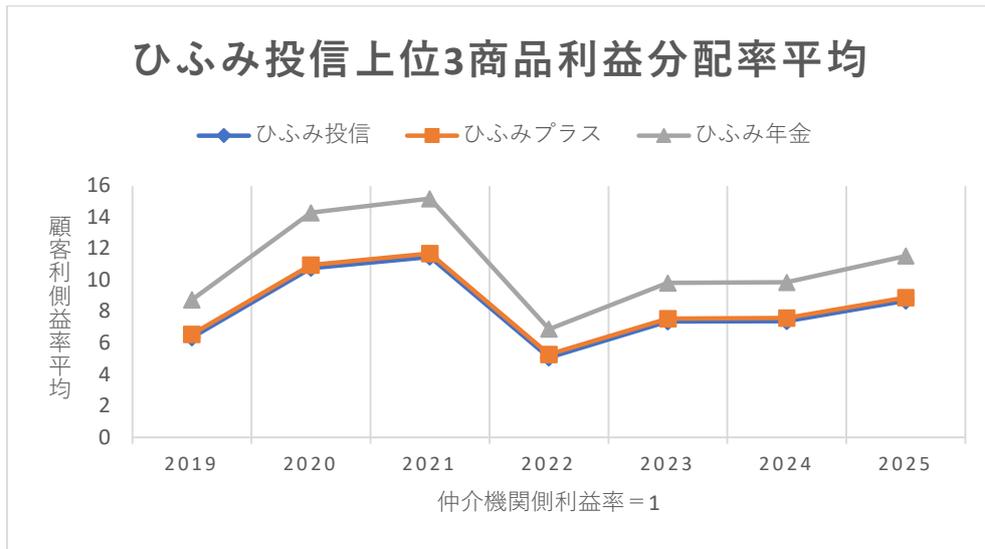
2



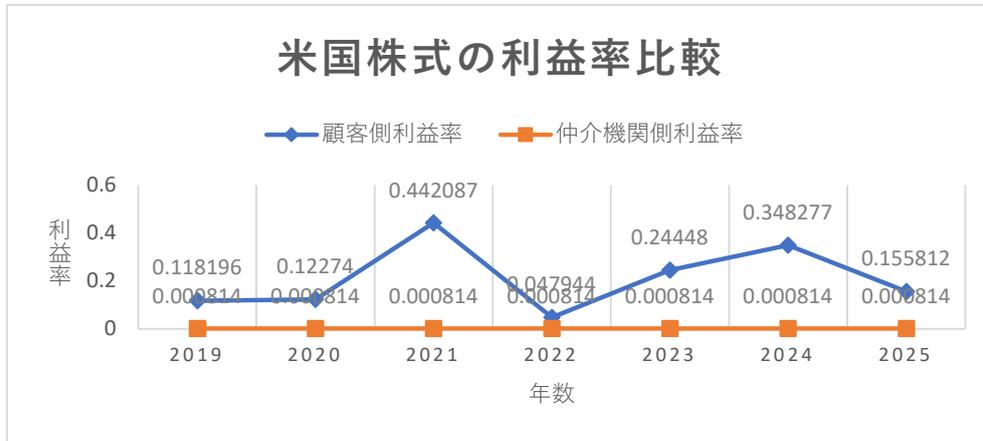
3



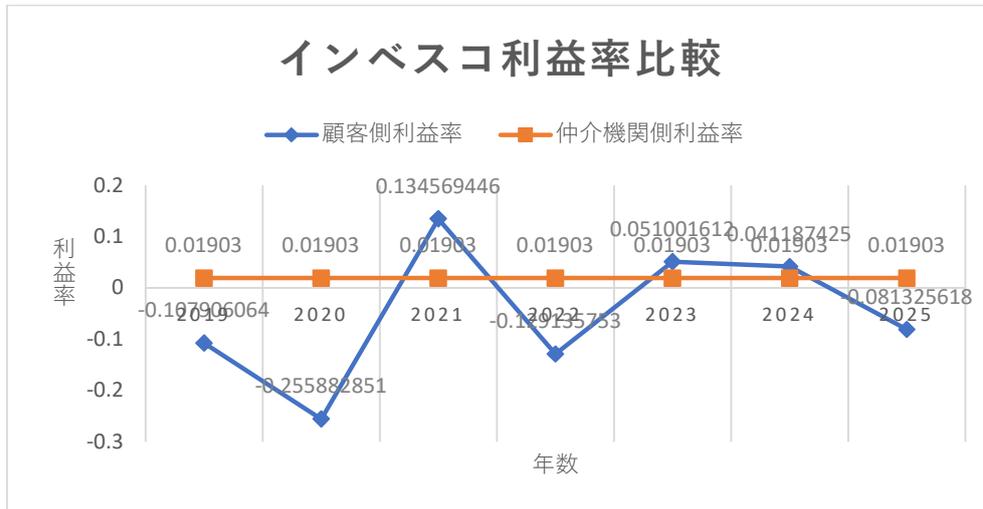
4



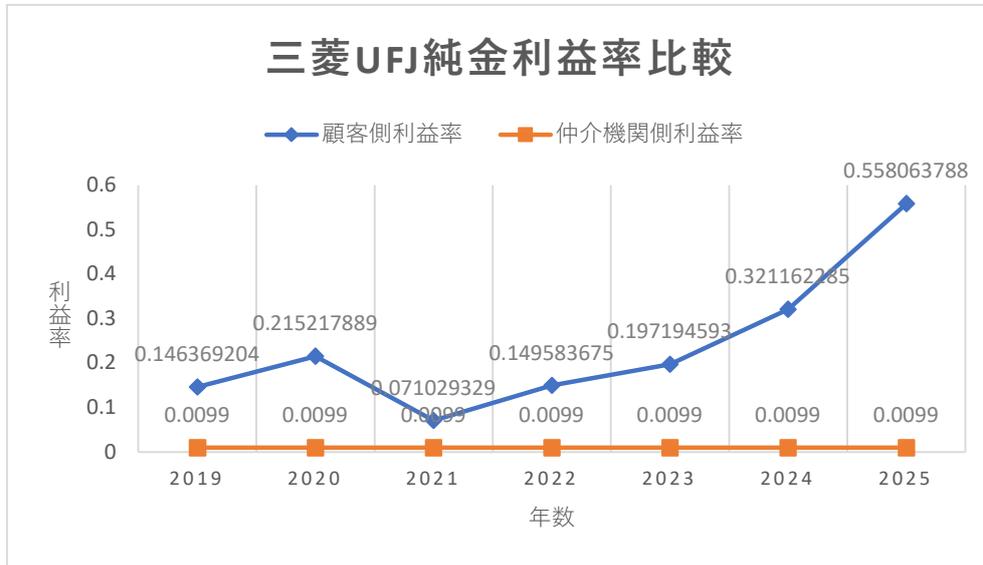
5



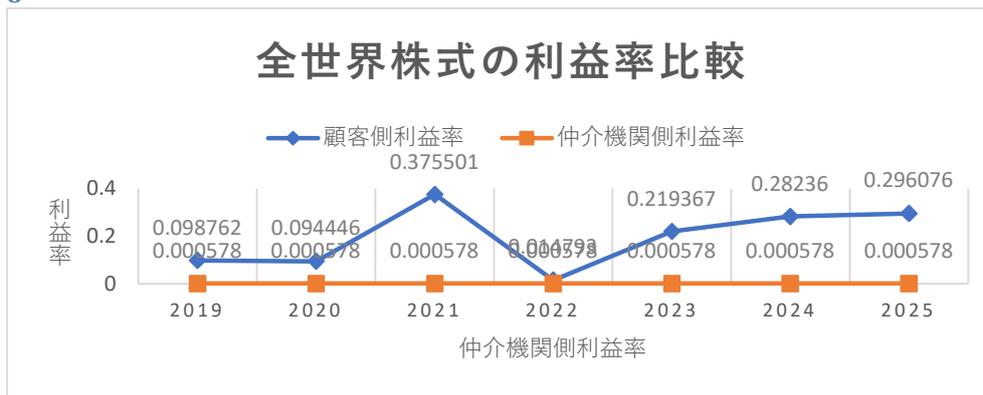
6



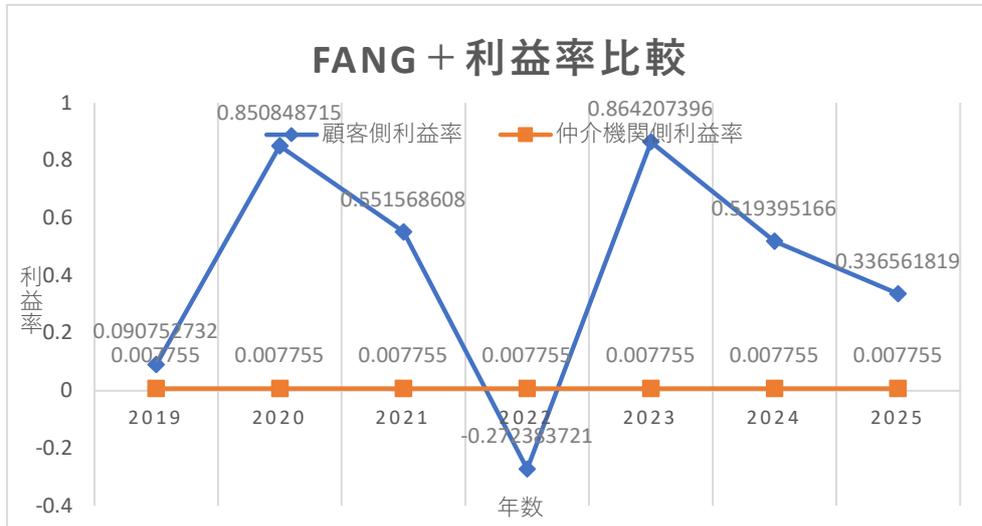
7



8



9



10

